

事業所名 放課後等デイサービスゆうすい

支援プログラム

作成日

令和7年

1月

30日

法人(事業所)理念	福祉事業を通して地域の為、地域と共に			
支援方針	1人1人の特性に合わせて、集団活動と個別支援の中で、自立に向けた支援(コミュニケーション、生活スキル、社会性、心身の健康)を行います。地域との繋がりを大切にしながら、ご家族様、関係機関と連携を密に図ることで、安心して地域に戻っていただけるよう、総合的にサポートします。			
営業時間	8時	30分から	17時	
	30分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容				
	太陽グループ(主に高学年)	星グループ(主に中学年)	月グループ(主に低学年)	
本人支援	健康・生活	自立を見据えたスキルの獲得(挨拶、健康管理、生活スキル)自身の体調を自身で管理する力の習得。心身の安定を図る。困った時には相談でき、解決できる。	ライフスキルトレーニング(LST)といった身だしなみや食事のマナー等、生活上のスキルを習慣化し自立を見据えたスキルの獲得を目指す。	登所、検温、連絡帳を出す、鞆に荷物を片付けるという一連の流れを習慣づけ、リズムを付ける。トイレ後、食事前、外出後の手洗いの習慣化。
	運動・感覚	戸外活動を通して、自然に触れ合い四季を感じ、感受性を豊かにする。柔軟性を高めるストレッチで怪我の防止、基本的な走る・蹴る・投げる動きを遊びの中で行い、体力を付けながら楽しく体を動かす。	子どもたちの特性に合わせ、状況にあった環境調整の提案を支援する。楽しみながら感覚を養っていく。	バランス運動や体幹を使った遊びを通して、姿勢保持や集中力を身につける。運動遊びの中で全身を動かし、体の動かし方を知る。感覚の偏りを、様々な経験を積むことで減らしていく。
	認知・行動	スキルトレーニングにて、社会的ルールを知り習得する。外部講師を招き、犯罪や金銭管理、性に関する正しい知識を獲得する。話し合い活動では、進行・書記・タイムキーパーなどの役割を持つことで、自主性や責任感の構築を図る。	ホワイトボードに1日の流れを提示することで、子どもたちが時間を意識し、見通しをもって過ごすことができる。主体的な意見をもとに、活動を通じ自身の考えの伝達、自己選択・自己決定を促す。子ども達が自ら気づいて考えていく事で状況に応じた行動が取れるよう支援する。	タイマーを使って時間の区切りを知らせることで、時間の感覚を知り、時間に対する意識付けを図る。スキルトレーニングで公共施設での過ごし方や交通ルールをを学び、実践することで意識付けを図る。
	言語コミュニケーション	持っている意見を言葉で相手に伝えられる。相手の話を聞く態度の習得(視線を向ける、姿勢、頷きなど)相手の気持ちや場面の背景を考えた発言ができる。	計画立案時に、相手の話を聞く・共感する・自身の考えを発表する機会を持つ。相手の言葉の意味を理解した上で、相手の立場になって考える力、思いやる心の構築を図る。	特性に応じて、ジェスチャーや理解しやすいよう言葉をかみ砕き理解を促す。読み聞かせを通して、想像力を膨らませたり、状況の理解や本の内容から話を広げ言葉を引き出す。
	人間関係社会性	ルールのあるレクリエーションを通して、他者と協力すること・お互いを認め合う関係性の構築。地域活動に参加したり、美化活動を行う事で地域の方との関りを作る。企業・事業所見学の機会を設け、自身の将来について考えたり社会での自分の役割を見出していく。	心身の安定(アンガーマネジメント、個別対応)戸外活動を通して、集団で活動する中でのルールを守る(公共の場)大切さを知り、その場に合った振る舞いができるようになる。	疑似体験での遊び(買い物体験、交通ルール)を通して社会性を育む。月1回のクラス交流にて、異年齢との関りを通して色々な人がいる事、色々な考えを持っていることを知り他者理解を深める。
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 年2回の保護者との面談に併せ、必要に応じて個別面談の実施 連絡帳やラインなどのツールの活用、送迎時に直接ご家族と情報を共有する 保護者の負担軽減を目的としたレスパイトケアの提供 		移行支援 <ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援センターの公開療育訪問、イベントへの参加 関係機関との情報共有 移行先への情報提供 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 年1回の学校訪問 ネットワーク会議や放課後等デイサービス支援部会への出席 体育館や図書館など、地域資源を活用する 年4回の避難訓練の実施、警察署の協力を頂き交通安全教室の実施 地域行事への参加 他事業所との交流会 		職員の質の向上 <ul style="list-style-type: none"> 月1回のスキルアップ研修や支援会議の実施 職員間のコミュニケーション強化 外部研修への参加 人権虐待研修(年2回) 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 各季節のイベント行事(果物狩り、ハロウィンパーティ、神社参拝、節分、進級を祝う会) 社会体験イベント(工場見学、公共交通機関を使った一日外出、日帰り旅行、水族館、動物園、宿泊体験) 家族参加のイベント(秋祭り、クリスマス会、親子遠足) 避難訓練(年4回) 			